

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

事業所名: はぐぼん藤が丘駅前

記入年月日: 令和 4 年 2 月 21 日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5		物を置かないよう気を付けている。最大10名で広さは十分。
	2 職員の配置数は適切であるか	3	1	送迎が同時刻のため、瞬間的に不足を感じる。足りていてもぎりぎりのため、スタッフの負担が大きい。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	2	エレベーターの使用が可能。トイレはバリアフリーではない。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	1	2	パートさんの参加機会が少ない。社員は目標設定と面談がある。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5		年に一度アンケートを実施。保護者の意向などを把握。評価表は初。今後活用していく。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	1	これが最初の掲載となる。はぐぼんのHPにて公開、事業者内への掲示。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	2	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5		週に一度全体での支援研修を実施。今後は全社的に、レベル別でも行っていく予定。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4		契約時に行く。その後、6か月に一度見直し、定期的に支援会議を実施。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3		アセスメントシートを活用。全社的に同じものを活用。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	5		全員が案を出せる環境作りが必要。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5		毎週のレッスン以外に、工作やアクティビティを行うようにしている。静動、中外など偏らないように考えている。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5		利用時間、利用者にあわせて活動の内容を決めている。休日や長期は平日より手間のかかることに取り組めるよう考えている。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5		自由時間(個)、レッスン(集団)の様子から課題を見つけている。個々に必要なことが身につくように作成。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5		朝礼や、ブリーフィングを毎日実施。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	3	次の日の朝に共有事項の確認をしている。ラインワークスも活用。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5		連絡帳と業務日誌に記録を残している。
関係機関や保護者との連携	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4		支援会議を行い、短期、長期の目標について話し合っている。6か月に一度見直し。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	5		
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	2	2	2 コロナの影響で担当者会議は行えず、電話、FAXのみ。2月〜3月で開催予定。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5		毎月学年だよりを提出してもらい、予定を確認。送迎時に先生と情報共有。電話でのやり取りをおこなうこともあり。緊急メールの登録をさせてもらっている。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	1	該当なし
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	3	一部、児童発達から相談支援を継続しているかたについてはできている。今後、情報共有できる体制を作っていく。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	1	該当なし
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	2	2 名東区自立支援連絡協議会主催の研修や事例検討に参加
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	2	2 児童クラブ、トワイライト併用者多数。今後、交流を検討していく。
保護者への説明責任等	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3		月に一度、名東区自立支援連絡協議会そだつ部会に参加。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5		利用日の連絡帳や送迎時に情報共有を行っている。
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	2	3	3 子どもみらいサポート講座の情報発信。保護者への支援は行っていない。
	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5		契約時に行っている。変更があれば、都度説明。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5		連絡帳のやり取りや、メール、電話、送迎時に行っている。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5		10月に保護者会を開催。保護者同士のコミュニケーションの機会を作った。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5		契約時に苦情の窓口を明示。即日対応している。電話、メールにて対応。適切に行えるよう共通認識をもてるようにしていく。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	2	2	2 会報の発行はなし。Facebookでその日の活動を発信。予定表で次月の予定を発信。
	35 個人情報に十分注意しているか	5		5 外部への発信の際は、名前がわからないよう配慮。名札も外してもらっている。施錠付きの書庫で管理。
非常時等の対応	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5		5 言葉選びに気を付けている。特性に応じて行っている。
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	3	3 地域交流はできていない。コロナの終息をみて検討していく。
	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	2	2 一部メール等で保護者に共有。すべてはできていない。今後周知していく。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5		5 月に一度行っている。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4		4 社内での研修あり。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	1	1 契約時に説明と同意をいただいている。同意書にはサインもいただいている。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	1	1 該当なし 保護者からの情報で配慮はしている。
43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5		5 その都度作成し、ファイルに保管している。	